



# 闘魂

現役部員  
3年生 28名  
2年生 32名  
1年生 33名

清水東高校サッカー部 後援会 会報

## 高校サッカー一選手権

- 第1シード...★静岡学園、★浜松開誠館、★藤枝明誠、★藤枝東
- 第2シード...★富土市立、浜名、清水東、清水桜が丘
- 第3シード...磐田東、東海大翔洋、常葉大橋
- 第4シード...科学技術、飛騨、日大三島、焼津中央
- 第5シード...袋井、静岡、オイスカ、浜松東

★プレミア・プリンス校は決勝トーナメントより出場

20223 9月 10月  
16 23 30 7

### 〈一次トーナメント〉

清水東	12:00
焼津水産	12:00
三島南	12:00
静岡市立	10:00
湖西	10:00
富士	14:00
駿河総合	14:00
袋井南	14:00
相良	11:00

決勝

決勝トーナメント  
10/29(日)、11/3(金祝)、5(日)、12(土)



### 「選手権に向けて」

主任から約半年がたちました。まず4月下旬から開催された高校総体ですが、中部予選を2位通過、県大会はベスト4という結果でした。県大会ではプリンス所属の富土市立・藤枝明誠を撃破し、宿敵清水桜が丘に1-2の惜敗で決勝進出ならずという我々としては非常に悔しい内容でした。ただスタッフとして初めてとしましては、分析題による相手チームの研究からゲームプランを忠実に実行する選手たちの姿を見たとき今後非常に可能性のあるチームだと感じました。リーグでプリンス参入を目指しつつ、来るべき選手権ではすべての皆様に歓喜をお届けできるようチーム一丸で邁進していきます。

(総監督 大川見広)

### 「選手権の展望」

県内高校選抜チームで唯一全国プレミアリーグに所属している静岡学園が優勝候補の筆頭になるのは間違いないと思います。現在プレミア



西地区で首位を走っており、実力はズバ抜けていると思います。しかし、昨年も優勝候補筆頭ながら準決勝で浜松開誠館に敗れ、浜松開誠館が全国大会に出場しました。今年の総体も決勝で勝ちましたが清水桜が丘高校が最後の最後まで追い詰めています。一発勝負で何が起るかわからない選手権では静岡学園に第2グループの高校がどのように挑んでいくかが見所だと思います。

第2グループは東海プリンス所属の浜松開誠館、藤枝明誠、藤枝東、富土市立に加えて県Aリーグ所属の清水桜が丘、浜名、そして本校もこのグループに属していると考えています。総体では清水桜が丘高校に敗れ、Aリーグ再開当初も苦戦が続いてきましたが、夏を怪で、第2グループの中でしっかり戦える実力をつけてきていると思います。

今年度本校は100周年を迎えています。新校舎での生活も始まり、10月28日(土)には記念式典も予定されています。選手権では本校100周年にふさわしい結果を残せるよう精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくお願ひいたします。

(監督 渡邊勝己)



### 「もう一度エコバへ」

あと1ヶ月足らずで冬の選手権を迎えます。夏のインターハイベスト4という結果を受けて、冬の選手権ではもう1度あの舞台に戻り、それを超える結果を出す事を目標とするのは当然です。しかし、その前には超えなければいけない壁があります。

それはベスト8への壁です。近年、冬の選手権ではこの壁を超えることが出来ておらず、インターハイ優勝という結果を取った2年前の先輩方できそこここで負けずまいにしました。今年はこの壁を超えて、自分達が見たことない選手権ベスト8の舞台に立つことが第1の目標です。

冬の選手権はインターハイ以上に異様な雰囲気が含まれていて、容易に勝利できる試合など1つもありません。その上、勝ち上がっていくためには必ず自分達と同等の相手や格上の相手を倒さなければなりません。技術はこの短期間で向上しようとしても限りがあります。しかし、チームとして全員がやるべきサッカーを理解して個人が1人で相手より劣っていたとしても、チームとして100%、それ以上に出来れば自分達よりもリーグが上の相手でも戦えると思います。

夏の遠征、練習試合などを通して選手間でのコミュニケーションも増え、それぞれが自分の要求を相手に伝えることで少しずつ1つのチームとして出来上がってきたような感覚があります。インターハイが終わってから作り上げてきたチームの集大成として最後、自分達の目指すサッカーが1試合でも多く出来れば良いです。

乗り越えなければならない壁が多々ありますが、最終的な目標は目指すところです。今年は学校100周年も重なり、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を最終的に目指すところです。今年は学校100周年も重なり、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を最終的に目指すところです。今年は学校100周年も重なり、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を最終的に目指すところです。

応援よろしくお願ひします！(3年 宮野陽貴)

## 金沢遠征

- 清水東vs八千代 2-2
- 清水東vs大産大付属 1-4
- 清水東vs境 3-1
- 清水東vs新潟明訓 5-2
- 清水東vsレノファ山口 2-0
- 清水東vs金沢3-0



8月1日から8月5日までの5日間、金沢コースに行ってきました。1次リーグは1勝1分け2敗という結果になり、初日は1分け、1敗とあまりよくなかったですが2日目以降は勝戦でした。最初は失点が目立ちましたが、5日目は無失点に抑えることができました。攻撃では毎試合チャンスをつくり無得点の試合が多かったとはいえないと思います。また、勝ち試合が多く、とてもいい経験になりました。

今回の遠征では守備、攻撃、精神的な面で成長がはっきりしました。守備では不用意な失点が目立ちました。クリアや切り替え、ゴール前で体を張るなど守備においてやらなければならないことが中途半端になり失点してしまいました。また、インターハイからの課題の1つであるセットプレーからの失点が目立ちました。セットプレーは流れ関係なく点をとることができるとして積極的に改善していきたいです。攻撃では決定力不足が目立ちました。ゴール前に行く回数が多かったのですが、決めきれず相手のカウンターで試合になってしまいう場面が多かったです。決めきれないという悔いが生まれてしまいました。シュートが当たらないFWだけではなくチーム全体として決めきれない、シュートで終わることを意識していきたいです。精神的な面では、集中力や気持ちの強弱としていきました。チームで意識している開始10分やセットプレーでの失点が多いのは集中できていないからだと思います。

また、絶対に失点しない、点を取りたい、勝ちたい、負けたくない、こういった気持ちが見られる場面が多かったです。サッカーでは技術や体力でも大切なことはありますがゴール前で気持ちが大きく左右すると思います。インターハイのベスト16の富士市立高校戦は技術では劣っていたものの勝つことができたのは勝ちたいという強い気持ちがあったからだと思います。インターハイではベスト4で終わってしまったので、選手権では全国に行くために反省を生かし頑張ります。(3年 村松桂所)

## 県リーグ

## 2023 県Aリーグ戦績表

2023.9.10現在

2023 A	清水桜が丘	浜名	静岡学園 3rd	東海大翔洋	清水東	磐田東	常葉大橋	エスバルス 2nd	浜松開誠館 2nd	藤枝東 2nd	試合数	勝	引分	負け	得点	失点	得点差	順位	
清水桜が丘		1-0	4-2	4-0	3-1	0-4	1-0	3-1	0-0	3-0	28	13	9	1	3	25	13	12	1
浜名	0-1		0-3	2-0	6-3	2-0	1-1	5-1	4-1	4-0	26	12	8	2	2	29	11	18	2
静岡学園 3rd	2-4	3-0		0-1	2-2	3-2	3-0	0-0	1-0	2-2	24	12	7	3	2	29	15	14	3
東海大翔洋	0-4	0-2	1-0		2-3	2-3	1-0	4-3	1-0	4-1	24	13	8	0	5	23	22	1	4
清水東	1-3	3-6	2-2	3-2		4-1	1-1	4-2	1-0	3-1	21	13	6	3	4	32	25	7	5
磐田東	4-0	0-2	2-3	3-2	1-4		3-1	1-4	1-1	4-0	18	13	5	3	5	24	22	2	6
常葉大橋	0-1	1-1	0-3	0-1	1-1	1-3		4-0	2-1	2-1	13	13	3	4	6	14	18	-4	7
エスバルス 2nd	1-3	1-5	0-0	3-4	2-4	4-1	0-4		6-3	3-1	13	14	4	1	8	26	43	-17	8
浜松開誠館 2nd	0-0	1-4	0-1	0-1	0-1	1-1	1-2	3-6		0-2	9	13	2	3	8	10	20	-10	9
藤枝東 2nd	0-3	0-0	2-2	1-4	1-3	0-4	1-2	1-3	2-0		5	13	1	2	10	14	37	-23	10



夏休み前、自分は県リーグで出場した数試合でいろいろなることを得ることができました。まず、個人の成果としては前日ホールをおさめたり得点できたりといったことなどがあってと思います。しかし、それ以上に2つの課題が見つかりました。1つ目はパスコースがないと相手に取られてしまうことです。どうやら相手に取られるか否かを考えた時に、1人でドリブル突破できるようなならなければいけません。そのためには練習や試合で積極的にチャレンジしたり、自主練でドリブルの技術を上げたりすることが必要となり、短期間でできるようにするにはいい練習メニューで継続していくことが大事だと思います。また、今井くんや太田くんなど良いお手本を近くで見ることができるので、密かに自分でもできるように練習していきたいです。2つ目の課題はシュートです。特にミドルシュートが自分は下手だと思っています。そのため自主練ではこのミドルシュートの練習を重点的に行なっています。そしてこの練習を行うなかで気づいたこと、それはボールの位置がシュートを打つ上でとても大切なことだということです。試合を映像などで振り返ってみると、ボールの置く位置が悪い時に外してしまっていることが多いということが分かりました。このことから、トップから意識して練習を行うようになり、ちょっとずつシュートが惜しくなっていく成長を感じることができました。この2つの課題を克服して、自分の強みにできるように頑張っていきたいです。再開される県リーグ戦で、自分は積極的にプレーをすること、たくさん得点を取ってチームに貢献し、チームの中心選手になっていきたいです。(1年 瀧村知太郎)

## 横須賀遠征

- 清水東vs山梨学院 4-0
- 清水東vs三浦学苑 0-4
- 清水東vs前橋育英 1-2
- 清水東vs実業 0-2



8/15から3日間、横須賀で行われた横須賀県ユースサッカー大会に出場しました。台風の接近などによって大会の開催自体が危ぶまれた大会でしたが、日程が多少変更になっただけで無事開催することができました。そして、3日間も降らず、良好な気候でサッカーを行うことができました。

1日目は、山梨学院との練習試合でした。以前に練習試合を行ってあり、その時は結果が芳しくなく、その時の試合にいた人が多かったため、皆そわそわ感が強い状態に陥ったと思います。相手のレベルも高く、決して簡単な試合ではありませんでしたが、守備陣の活躍や、途中交代で出場した選手の活躍もあり、最終的に4-0で勝つことができました。

2日目は、1日試合とハードな日程でした。対戦相手は三浦学苑と前橋育英という全国的にも名の通ったチームでした。結果としては、2試合とも勝つことができず、負けてしまいました。内容は良くない試合で、1日目に比べて劣っていたという人が多く、戦力が落ちたことに加え、相手に相手より強いプレーができていたように感じました。相手のレベルが高くなるにつれて、粘り強いプレーや、相手よりも多く走るということも必須の要素であり、それだけで高い点と相手につくことができないので、そういう基礎的なことをチームとしてより高めていかないといいと思います。

横須賀遠征の最終日である3日目は、真岡と対戦しました。前半は、チームとして良い攻撃ができていたが、セットプレーから失点を喫してしまいました。そのまま負けてしまいました。監督がよくおっしゃるように、セットプレーはそれまでの試合の清けとは関係ないので、とても大切な試合だと思います。セットプレーから簡単に失点してしまうと試合も勝てなくなってしまうので、改善をしなければいけないと感じました。この遠征では、チームとして点しか取れておらず、そのうちの一点は相手のオウンゴールで、大会の本番では、一点も取れていません。FWとして試合に出場して自分としてはとても不甲斐なく、悔しい結果に終わってしまいました。

この大会で良い結果を残すことができれば、夏の後のAチームのメンバーに入ることができ、多くの人がそのことを目標として頑張ってきたので、この結果に納得していない人が多いかと思う。この遠征の結果を無駄にしないように、日々の練習をより良いものにしていくことが重要であり、Aチームと2ndチームに分かれますが、各々が日々精進してきたいです。(2年 三井兄弟)

## 全体合宿



この富士合宿を通して感じたことは3つあります。

1つ目はAチームの練習の強度の高さです。普段自分はBチームにいたのでAチームの選手たちと一緒に練習することがほとんどありませんでした。しかし、この合宿で一緒に練習をしたなかで、Aチームの選手たちは、きつと思うところからもう一つ頑張ってプレーしていました。しかし、自分は練習でどうなのかと聞かれてみると、きつと思ったところで止まってしまうことが多かった。自分よりも上手いAチームの選手たちが練習で自分よりもハードワークをしているのを見て、このままでは絶対にAチームに上がることは出来ないと思い、これからの練習では、もっとたくさん走ったりハードワークしようと思いました。

2つ目は、自分たち一年の準備や片付けなどの雑さです。会場にいったときに、まず自分の準備をしまい、また自分の準備を他人と話しながら行っていたので、チームの練習の準備が練習スタートの時間ギリギリになり、少し遅れてしまっていました。また、自分たちの準備が悪いせいで先輩たちが手伝わなければならないこともありました。気が使えなかったり、周りのために遅くなった。準備が自分たちで行うのは、サッカーにもつながると思うので、これから、まずチームの練習の準備をして、その後急いで自分の準備をしようと思いました。

3つ目は、サッカーが上手い選手は、日常の生活にもメリハリをつけて動いているということです。自分は勉強をするときにだらだらとしてしまい、時間の割に勉強が進まないことが多く、休憩に入ると、ずっとスマホをいじったり、ほかの人と話したりして、勉強に戻れないことが多かったのが先陣たちは勉強をやる時間をしっかりと決めて、その時間以外他のことをせずに勉強をしていたので、自分も同じように時間を決めてメリハリのある勉強をしようと思いました。

この富士合宿を通して、チームとして一つになれたと思うのでメンバーに選ばれた選手も、選ばれなかった選手もチーム一丸となって選手権全国大会出場を目指していきます。(1年 安藤尊輝)



中部1部リーグ

2023 中部1部リーグ戦績表

2023.9.10現在

Table with 17 columns (teams) and 17 rows (teams) showing match results and statistics for the 2023 Chubu League Division 1.

私たち2ndチームでは4月より中部1部リーグに参戦しています。しかし、初戦から藤枝明誠、島田工業、駿河総合に立て続けに敗戦が続いてしまいました。そんな敗戦が続く状況を転機と捉え、5月30日島田工業戦ではうまく攻撃がはまり自分たちのやりたいサッカーができ、初めて引き分けで試合を終えました。この試合で何とか負の連鎖を断ち切れました。選手たちも忘れかけていた喜びを取り戻し雰囲気も良くなりました。しかし、次節東海大翔洋戦では圧倒的な力の差を感じさせられ0対2で敗北しました。それでも選手は前向き、その後の第7、8節は連勝することができて再び大きな追い風が吹きました。それで第9節科学技術高校には惜しくも負け、第10節静岡商業には0-5で敗戦を記録してしまいました。この後藤枝北戦では引き分けたものの再び延期されていた第3節清水桜が丘に負け、このように11節まではどうも戦績に波があり安定的に勝ち点を取れない日々が続きました。そのため負け時は2ndチーム内に不安な雰囲気があり、選手、コーチ陣は日々の練習から工夫をし、自主練習など、より一層の努力を重ねてきました。残りの試合数が少なくなってきたので、残部に向けて勝利を重ねられるように、チームとしては課題である決定力不足を補うために、シュート練習やセンタリング練習などゴール前に勝手をかけていきたいと思っております。個人としては自主練習でチームの課題を補うためにサイドの駆け上がりからのセンタリング練習などでチームに貢献して行きたいです。(2年 森山若琳)



草津遠征



- 清水東Bvs前橋商5-0
清水東Bvs駒沢大付尾0-7
清水東Bvs光明学園3-0
清水東Bvs慶応志木2-1
清水東Bvs慶応学園0-0
清水東Bvs前橋商1-2
清水東Cvs東京学館浦安1-1
清水東Cvs中央大杉並0-3
清水東Cvs慶応学園0-3
清水東Cvs慶応志木0-1
清水東Cvs津工業2-1
清水東Cvs鎌倉学園9-0

8月11日から4日間、草津遠征へ行ってきました。この合宿では、様々な相手と試合をし、多くの経験を積むことができました。その中で得た成果は、ボールを繋ぐ意識が強めることができたことです。これまでの試合では、無理にFWを狙って大きく蹴り、ボールを失ってしまう場面が多かったのですが、この遠征では繋ぐ意識をもち、しっかりとミドルボールにするということが多かったのが良かったです。一方で課題は、止める・繋ぐの技術がまだまだ足りないということです。繋ぐ意識を持つことが出来たのは良かったです。しかし、ちょっとしたミスで相手にボールが渡ってしまったら、ワンタッチ目のボールの置き方のミスでボールが遠くになってしまう場面が多かったため、止める・繋ぐという基礎的な部分を大切にして練習に取り組みたいと思います。試合中にプレーを分析し、改善する力をつけることも必要だと思いました。例えば、ポジショニングが悪かったり、マークの付き方が曖昧な時に、選手同士で話をし、どうすれば良いのかを考え、それを実行するということが出来れば、試合の流れが自分たちの方にやってくるのだと思います。しかし、今回あまり自分のプレーを試合中に分析できず、試合後に振り返り話したりということが多かったため、今度は試合中にそれができるようにしていきたいです。今回は、自分の思うようなプレーができず、課題が多く残る試合となりました。その課題一つ一つに対して丁寧に取り組んで改善していきたい。これからの試合で自分の思い通りのプレーができるように根気強く頑張りたいと思います。(1年 横山悠吾)

萑崎フェスティバル

- 清水東vs萑崎1-3
清水東vs西志野3-0
清水東vs四日市中央4-0
清水東vs正立学園1-1 (PK5-4)
清水東vs正立深谷0-2



7月15日から7月17日までの3日間で萑崎フェスティバルがありました。この大会では、県外の強豪校と試合をすることができました。また、GK不在などの多くのアクシデントもありながら、一年生だけで試合を行える貴重な大会となりました。初日の萑崎戦では、自分達でボールを保持し試合を優位に進めながらも決定機を中々決められず、相手に先制点を許し流れを完全に握られ1-3と悔しい敗戦となりました。試合の流れを考えながら試合をする重要性を痛感する試合となりました。2日目は、碧志野高校と四日市中央工業高校との2試合を行いました。両校との試合も選手全員がチームのためにハードワークし、3-0と4-0と2試合ともクリンシートで高い試合結果となりました。また、初日と2日目の予選の結果により最終日は、1位リーグで試合を行えることになりました。最終日は、初戦に全国総体出場を控える成立学園との試合を行いました。初日同様、相手ペナルティエリア内でのケオリプレーが低くなかなか決定機を決められず先制点を許すも、清水東の強みである粘り強さを試合で発揮することができ試合を向かい、PK戦ではキッカー5人全員がしっかりと決め勝利を収めることができました。試合では、決定力不足などの攻撃面でも多くの課題を残す結果として、決勝進出は決まることができませんでした。決勝は、予選から4試合全勝で決勝進出を決めている正立深谷高校との試合でした。試合序盤から激しい攻防を繰り返すも、相手に先制点を許してしまいました。相手に退場者が出て、ボールを保持しながら自分達のリズムで試合を進べる有利な展開になったにも関わらず、追加点を許してしまい結果的に0-2で敗北を喫し、準優勝という形でこの大会の幕を閉じました。この大会では、強豪校相手に攻撃面や試合の運び方で多くの課題を感じながらも自分達でも通用する部分が見つけたことができました。この経験を、選手一人一人が各カテゴリーに還元し、チームが30年以上達成できていない全国出場を果たすために、より一層厳しくトレーニングに励んでいきます。(1年 宮本拓真)

JY和倉遠征

- 清水東JY vs LEVANTE 1-1
清水東JY vs セブン能登 2-0
清水東JY vs C S A 4-1
清水東JY vs FC Brillare 5-0
清水東JY vs GRAVIS 8-0
清水東JY vs LASTA滋賀 3-1
清水東JY vs 大阪市ジュネッス 2-8



今回の遠征では、自分の立てた目標は、しっかりと達成することができました。自分が何を、どう動くかで、点を取ることを見つけられたし、一人一人が声を出し要求をしていて、やっとなチームらしくなってきたと感じました。でも、まだ足りないと思うところは、「内容」に勝る「勝ち」への意識です。「1点取られたら2点取り返す」「2点取られたら3点取り返す」という意識、姿勢が足りていないと思います。2点3点を取られて落ち込む前に、すぐ取り返し流れを変えるチームになるためには、2点取られて落ち込むようじゃ甘いなど、最後の試合の前半で感じました。だから、GK・DFを含め全員がもっと欲をもってプレーができるようなチームになっていきたいです。(JY1年 齋下颯互)

サッカースクール



8/27.9/3.9/10の3日間、地元地域の小学5.6年生を対象に、サッカースクールを開催しました。武田隆隆氏(静岡市立高)は「ジュニア年代に必要な基礎技術」、大川晃広氏(清水東高)は「一人での駆け引き」、膳尾信行氏(科学技術高)は「ボールフィーリング」をテーマに各人とも約2時間、指導していただきました。各回30人の定員でしたが、すべての回で定員に達し、子供たちのサッカーに対する熱意を感じました。本校サッカー部としても、このようなスクールを通じて地元清水の子供たちのサッカーの普及に貢献していくことも、重要な活動であることを再認識いたしました。(事務局)

JY東海遠征

- 清水東JY vs C GROSSO 4-4
清水東JY vs TSV四日市 3-2



今回の遠征はいつもとは違い、試合数も少なく3日目は旭光というものでした。そんな中、サッカーでも生活面でも成長することができたと思える、とても貴重な遠征となりました。1日目は、日本福祉大学のグラウンドでC-GROSSOと試合をしました。久しぶりの試合のため、試合の雰囲気やプレーなど思い出し楽しくやることがテーマでした。改めて「試合」というものの楽しさを思い出して良かったです。2日目は、四日市中央工業のグラウンドでTSV四日市と試合をしました。TSV四日市は、昨年夏の金沢遠征で負けてしまったチームでした。やはり強かったですが、昨年よりもいい内容の試合ができ、自分たちの一年の成長を感じられる機会となりました。チームの課題であるラインコントロールや決定力も日々の練習の成果が出て、個人としても力がついてきたと実感できました。3日目は、伊勢神宮を参拝しました。すごく広くて沢山の建物があり驚きました。ガイドさんがついてくださり、色々なことを教えて頂きました。参拝後は、おがき橋までの自由時間があり、みんなで昼食をしたり、家におみやげを買ったりしました。とても勉強になり、とても楽しかったです。今回の遠征では、本当に沢山の学びがありました。この遠征で学んだことをこれからに活かし、サッカーも勉強もみんなで頑張っていきたいと思っております。(JY2年 早川晃)

OB会長より

牧田後援会会長及び後援会員の皆様におかれましては、後援会会報「闘魂」の発行をはじめ、日頃より清水東高校サッカー部に対し多大なるご支援を賜っておりますこと、OB会を代表して厚く御礼申し上げます。また、会報の制作に携わって下さっている皆様にも感謝申し上げます。清水東高校サッカー部を応援してくださっている皆様が一番気にかけていることが、グラウンド整備のことかと思いますが、現在、学校校長の御理解のもと、新校舎の建設および旧校舎の取壊しと並行し、グラウンドのレイアウト変更に伴う「人工芝化」の実現に向けて、要望をしております。とはいえ、県立高校として、クリアしなければならない問題は多く、その実現は困難をきたします。確約などできませんが、将来その方向性が見えてきたときには、後援会・OB会の皆様には、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。さて、結成2年目を迎えております「清水東ジュニアユース」ですが、最近ではメディアや雑誌等にも紹介される機会が増え、私のところにも「どうしたら息子を入れてもらえるのか?」と尋ねてくる保護者の方も増えてきました。今年度の応募者も、初年度の2倍近くになりました。今から来春が楽しみです。選手権の件は10月より始まります。清水東高校サッカー部の熱き戦いの応援に、今年も多くの皆様足を運んでいただきますようお願い申し上げます。(OB会長 中島一馬)



清水東高校サッカー一部後援会 会報「闘魂」
編集：静岡県立清水東高等学校 サッカー一部後援会 広報委員会
協力：静岡県立清水東高等学校 サッカー一部部員
事務局 特定非営利活動法人 MBAスポーツクラブ
後援会員募集! 一口3,000円〜 申込みはHPより
清水東サッカー 検索